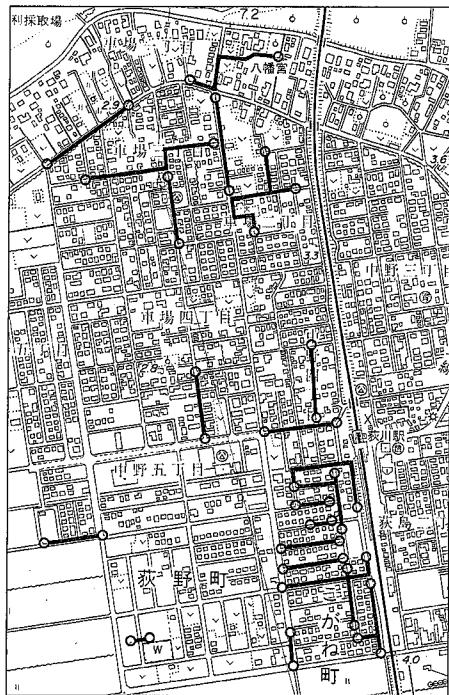
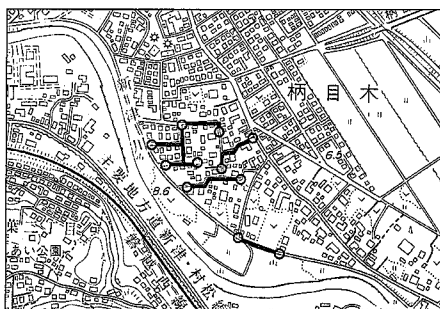
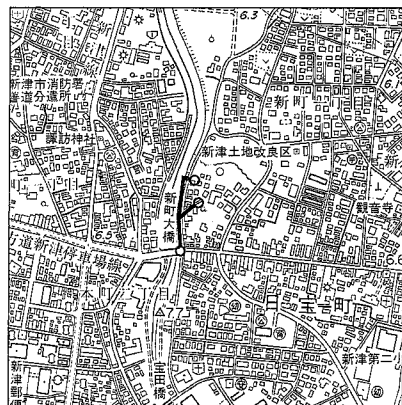
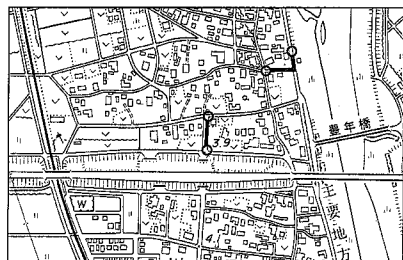


快適な生活空間を

下水道工事箇所

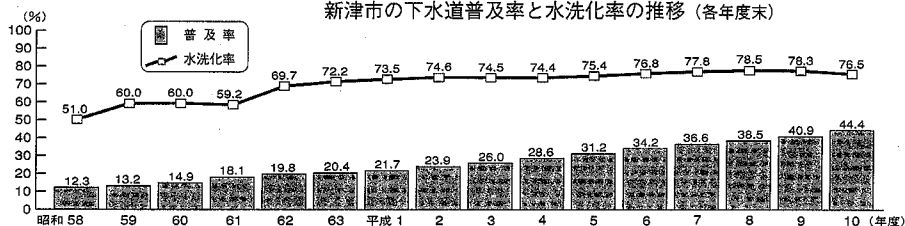


平成11年度下水道汚水工事箇所



荻川地区の受益者負担金は平成12年度から受給者負担金は、下水道建設事業費の二十割をその地域の皆さんから負担していただくものです。東部地区については平成九年度から徴収していますが、荻川地区についても平成十二年度からの徴収を予定しています。受益者負担金は、その地区に所有している全ての土地が対象となり、その面積に一平方メートル当たり六百九十円を乗じたものが徴収金額となります。徴収に先立ち確認書などを送付いたしますのでよろしくお願い致します。

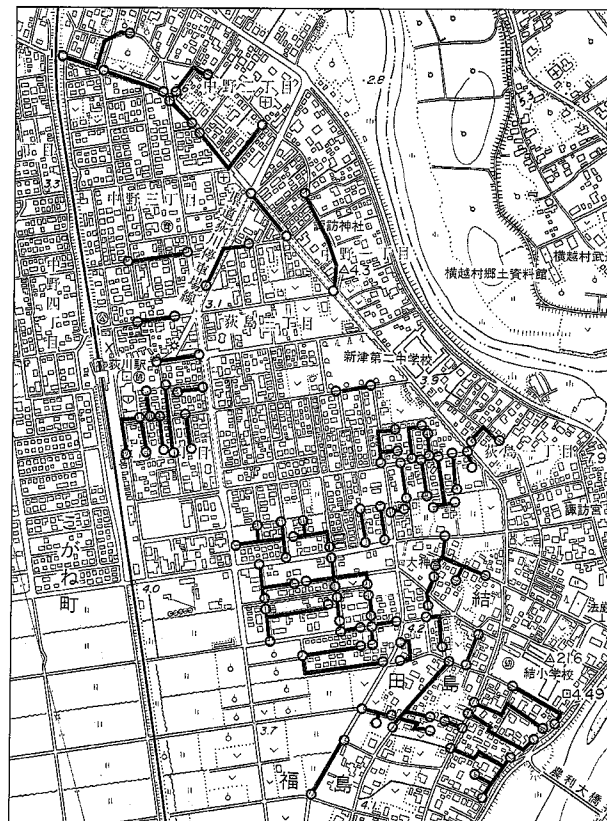
新津市の下水道普及率と水洗化率の推移 (各年度末)



快適な生活空間をひろげます

～今年度の下水道工事箇所を紹介～

浸水対策も積極的に推進



平成11年度下水道汚水工事箇所

今年度は、快適な生活環境をつくり、海や川の水質を守るための汚水の工事とあわせ、浸水対策としての雨水の正事を積極的に推進します。工事中は何かとご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、工事のための交通規制や下水道に関する情報などは、エフエム新津で月曜日から金曜日までの毎日二回「下水道情報」の中で放送しています。

汚水の普及率を52%に(年度末予定) 汚水の工事区域は、結、福島、荻川、中野、車場、こがね町の荻川地区と新町、柗目木の東部地区で、三十八路線のおよそ十キロ、三十七軒を整備する予定です。この地区に住んでいる人は、平成十二年三月末までに、下水道が使えるようになります。また、今までに汚水工事を完了した荻川地区は、結、福島、中野、車場、こがね町の荻川地区と新町、柗目木の東部地区で、三十八路線のおよそ十キロ、三十七軒を整備する予定です。この地区に住んでいる人は、平成十二年三月末までに、下水道が使えるようになります。また、今までに汚水工事を完了した荻川地区は、結、福島、中野、車場、こがね町の荻川地区と新町、柗目木の東部地区で、三十八路線のおよそ十キロ、三十七軒を整備する予定です。この地区に住んでいる人は、平成十二年三月末までに、下水道が使えるようになります。

了した磐城自動車道北側の川口、福島、結の一部は今年の四月一日から下水道が使えるようになります。その他の荻川地区で汚水の工事が完了した地域に住んでいる人については、平成十一年末に県の流域下水道が完成の予定で、平成十二年一月から下水道が使えるようになります。これにより、平成十一年度末の普及率は全市のおよそ五二割になる見込みです。排水設備工事で快適な生活空間を 下水道の本管工事が完了したばかりでは快適な生活空間はつくれません。各家庭から出る生活排水を下水道本管に接続する排水設備工事を進めていくことが必要です。下水道が使えるようになると、案内チラシを各家庭に配布します。現在、くみ取り式トイレを使用している方は三年以内に、単独浄化槽を使用している方は速やかに排水設備工事をしてください。なお、市では、排水設備工事について六十万円までの融資あっせんや利子の補給を行っています。■問い合わせ 下水道課業務係 (電話 241211、内線 533) へ。